

# 高齢者対策 出向問題 集中議論に

## 乗務員分科会第17回 定期委員会開催 (2月9日 千葉市民会館)

二月九日、千葉市民会館において、第十七回定期委員会が開催された。委員会には、各支部常任委員、代議員、傍聴者が七十数名が集まり、十二月ダイ改以降の問題点、五十七歳出向導入をはじめ、職場の様々な問題点について討議した。

委員会は、館山支部の原委員を議長に選出、進行された。まず、あいさつにたった檜垣会長は、「昨年の国労二〇二億円の『和解』、本年の阪神大震



【写真】運転士への責任のしわ寄せを許さず、運転保安確立へ力強く団結ガンバロー三唱を行う！(千葉市民会館)

災と激動の度合いはましている。五五年体制が崩壊し、本年は、節目の年となる。JR東日本は、55歳原則出向を57歳とした。国鉄時代は、高齢者のための交番や、構内業務などの選択肢があった。しかし、現在は、いくら年をとっても本線運転士を強要させられる。こうした状況打開のために、反撃に転じよう！とあいさつした。

続いて、本部・中野委員長のあいさつ、一般経過報告を冬木副会長、決算報告を吉田事務長、運動方針を檜垣会長が提起し、質疑応答に入っていた。

質疑では、

- ① 二名の車掌登用で、土職登用塩漬け解消の一步をかつとした。
- ② 水郡線のワンマン運転でキセル防止だとして、車内側のドア開ボタンを外側に移し、降車の客がドアを開けられないようにした。しかし通勤・通学時間帯は、運転室のドアに乗客が詰まり混雑する。キセルした客を注意した所、乗客に暴言をはいたと、処分された他労組組合員もいる。ワンマン運転のしわ寄せが運転士に来る。③ 会社は事故が増えているのでCS運動を行うという。しかし、安全問題に關する会社の責任を放棄し、全
- て現場に責任を転嫁するもの。(水戸)
- ④ 故川田君義捐金の協力頂き、感謝申し上げる。⑤ 次期ダイ改で全面的な基地統廃合が予想される。⑥ 新金線、無線が入らない箇所がある。(新小岩)
- ⑦ 十二月ダイ改で強制配転された。千葉転では、出区点検や所定便乗に乗ったかどうか隠れて見張るといふ労務支配が続いている。(千葉転)
- ⑧ 京葉運輸区に強制配転された。東労は、われわれの顔を見るとコソコソ隠れてしまう。⑨ 京葉の車両は、ブレーキの利きが悪い。⑩ 蘇我駅詰所が手狭である。(京葉)
- ⑪ 管内業務移管は許せない。外周区の将来展望はどうなるのか。⑫ 五七歳出向は、四月一日実施で、全く期間がない。(千葉転)
- ⑬ 十二月ダイ改以降勝浦では、勝浦駅構内工事に伴い、七月まで変仕事である。半年以上変仕事とは事実上労働条件の変更だ。⑭ 勝浦は寝られない仕業が多い。京葉の勝浦泊は、二十一時到着朝八時三十分まで寝ている。ピユウを担当させない矛盾がでている。(勝浦)
- ⑮ 異常時における乗務員の回収が遅い。また、特急を成東く佐倉間を各駅扱いにし、佐倉からまた特急とするという対応がなされた。乗客も戸惑っている。
- ⑯ PRC区間で列車交換とか副本線に入る場合、停車時分が足りない。(銚子)

- ⑰ 昨年一月、常磐線で架線を張っている電柱が折れる事故があった。調査の結果、多くの電柱が、コンクリート剥離している。(水戸)
  - ⑱ 構内運転の外注化はどうなっているのか。二五五系は手ブレーキがない。洗浄後、手歯止めをかわなくてはならないが、制服が垂れた水でびしょびしょになる。(幕張)
  - ⑲ 津田沼検査派出の泊体制廃止で、故障が出た場合は、変である。先日ワイパー故障で錦糸町まで修繕されず、非常に危険だ。(津田沼)
  - ⑳ 五五歳を過ぎて本線運転には、自信が持てない。(千葉転)
  - ㉑ 五五歳を越えての賃金の減額は許せない。(木更津)
- 等の意見が出された。
- 続いて乗務員分科、本部から答弁を受け、運動方針などを満場一致の拍手で確認、新役員を選出し、成功裡に終了した。

### 新役員員体制

会長	檜垣 充	千葉
副会長	冬木 浩明	銚子
事務長	斉藤 富雄	銚子
役員	松戸 彰 加藤 博 加田 嘉朗 吉田 英樹	千転 館山 勝浦 千転
監査	恋塚三樹男 中村 正二 庄田 聡	勝浦 銚子